

# 図書委員会の活動を紹介します。

## 9月の展示物

### ★図書館前廊下壁面 『あなたは猫派？犬派？』

「猫が載っている本」「犬が載っている本」を紹介しています。図書委員展示班が猫・犬1冊ずつ選び、猫や犬の形の枠に、本の内容を書きました。横5メートル10センチの作品、机の上の作業は大変でした。



↑ ↗  
←制作中

展示物を見る  
生徒たち→



### ★廊下ガラスケース ↓

### 『犬が載っている本』 『猫が載っている本』

上記展示物の前にあるガラスケースには、図書館に蔵書されている猫・犬の本を設置しました。また、図書委員が自宅から持ってきた猫・犬のキャラクターぬいぐるみも並べ、目を引きやすい展示をつくりました。





## ★図書館内入口壁面『ロンクセラー ぐりとぐらの魅力』

「ぐりとぐら」の過去のカレンダーを利用して展示物を作りました。並べられた絵本は、本校にあるもの、石川県立図書館・金沢市立図書館から借り出したものです。全部で24冊あります。

最初に出版された『ぐりとぐら』という題名の本は、日本語版、英語版（翻訳2種類）、韓国語と4冊並べて展示しました。アクセントとして、「ぐりとぐら」のぬいぐるみも飾りました。このぬいぐるみは、県立図書館の方に教えていただいたもので、黄色い軍手を使って作ってあります。

この展示を見た生徒のほとんどは、「懐かしい」と声を上げていました。先生のなかにも同じような声がありました。出版されて52年、ずっと読み継がれている「ぐりとぐらの魅力」だと思います。



## ★図書館内入口展示棚→

### 『絵本の力』

～皇后美智子さまが子どもたちに贈られた絵本～  
東日本大震災のときに、皇后美智子さまが、自分の蔵書の中から東北の子どもたちに、絵本を贈られました。同じ内容の絵本を展示しました。

また、美智子さまの著作「橋をかける」も展示し、読書の素晴らしさを紹介しました。

## ★その他の展示物

図書館入口ガラス面

すずきを持った踊るタヌキ。

↓ 図書館内入口壁面→



## 番外編 のぼたん

図書館奥のベランダに咲いているノボタンです。もともと南米の植物だそうで、日差しと水を欲しがります。水が足りなくて、何度か葉を落としてしまいましたが、しっかり花が咲きました。



## 清流祭企画・古本市

図書委員会では、毎年清流祭（文化祭）で古本市を行なっています。手がすいている図書委員がセッティングをし、1年生が販売を担当しました。今年は特別企画として、古本を10冊以上購入した方に特製の「起き上がりこぼしフクロウ」をプレゼントすることにしました。とても好評でした。



### 『起き上がりこぼしフクロウ』

理科の先生から、ガチャガチャの空きケースを大量にもらいました。そのケースの内側の底に磁石を貼り固定させ、そのまわりを和紙でくるみました。空気が入らないように、おにぎりを作るようにギュッとしめていきます。1日乾かし、その後顔や羽をつけていきました。約50個のフクロウが出来上がりました。お愛嬌で、カッパを作る生徒もいて、今度はペンギンを、シロクマを、ネコを作ろうと企てています。

